

一般質問

門議員

その他の質問
市内遊休宅地のミニ公園化について

人口減少社会への取り組みについて

Q 質問 総合計画の中で、どのような位置づけと方策により、人口減少社会へどう対応しようとしているのか伺う。

そこで永年勤続報奨制度を実施することにより、勝山市は人を大切に、あるいは企業の従業員を大切に、あるいは企業を大切に、勝山市の良さをアピールしてはどうか伺う。

A 答弁

第5次勝山市総合計画の政策は、人口減少社会への課題にどう対処すべきかの視点に立ち、特に20代から30代の今後結婚や出産を予定している年齢層、及び都会で退職を迎え第2の人生を送ろうと考えている年齢層等や高齢者に対する積極的な展開を図るものとなっている。今後とも誰もが住みたい、ずっと住み続けたいと思えるまち、いつかは帰ってきたくなるまちであり続けるための様々な政策を計画的かつ総合的に推進していく。

報奨制度の創設については、人口減少時代に対応したさまざまな定住化促進に向けた政策協議の中で、その是非を含め検討していく。

長尾山総合公園を取り巻く交通環境の整備（歩道の設置）について

Q 質問 寺尾地区内より、交通量が増えたので非常に危険に感じることが多いとの声がある。市道を拡幅して歩道を設置する必要があると思うが、道路管理の観点からの取り組みを伺う。

A 答弁

年々増え続ける恐竜博物館への入込客数に対応するためには、駐車場の増設とともに長尾山総合公園周辺の交通環境の整備も必要であることは認識している。その対策の一環として、寺尾区内の旧国道と国道157号まで約100メートルの区間について、バイパス道路を整備し、渋滞の緩和を図る予定をしている。歩道設置についてはバイパス道路が完成後、供用された後の交通量および車両の動線等を踏まえて検討したい。



小原区

丸山議員

その他の質問
通学路の安全、特に夜間における照明について
子供の虫歯予防のためのフッ素処理について
SNSを活用した清掃活動について

勝ち山夏物語・かちやまワッショイについて

Q 質問 「かちやまワッショイ」が、8月14日に元祿線およびゆめおーれ勝山屋外ステージにて開催された。次の2件について市の見解を伺う。
①「勝ち山夏物語」のメインイベントとして来年以降も続けるのか
②続けるならば参加団体を増やすための工夫や小学生チームへの助成について

A 答弁

①来年度以降のかちやまワッショイについては、今後、参加チームとの意見交換会や実行委員会の反省会などの意見を参考にし、夏休み期間中におこなわれる一連のイベントの時期や内容などを検証するなかで検討していく。
②参加チームへの助成や参加チームを増やすための取り組みについても、勝ち山夏物語全体の中で市として検討していく。

全国学力テストについて

Q 質問 文部科学省が小学6年生と中学3年生の全児童・生徒を対象に4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表された。

福井県は7年連続で全国トップクラスの成績を上げているが次の項目について教育委員会の見解を伺う。
①同テストの意義について。
②公表の有無については、勝山市は未定としているが、その対応について。

A 答弁

①学校では、児童生徒が「確かな学力」を身に付けるべく日々努力しているが、その成果や問題点を把握する上で、全国学力・学習調査は意義のあるものと受け止めており、今後とも参加・活用していきたいと考えている。
②今年度の学力調査の結果を公表していきたいと考えている。その内容や公表方法については、平均正答率は数値表示によらない方法で全国や県平均との比較などをしながら、市内の小中学校における習熟度の状況や課題の分析と対応策、また現在の子ども達の学習環境に関する状況等について、分かりやすくポイントを整理していきたいと考えている。



かちやまワッショイ